



日本腎臓学会は腎臓学研究の進歩と知識の普及、国民への還元を目的としています。

一般社団法人日本腎臓学会 Japanese Society of Nephrology

English 文字サイズ: [小](#) [中](#) [大](#)

サイト内検索: [検索](#)

[ホーム](#)

[一般の方へ](#)

[学生・研修医向け](#)

[医療従事者向け](#)

[会員向け](#)



[お知らせ](#)

[理事長ご挨拶](#)

[日本腎臓学会について](#)

[診療ガイドライン](#)

[学術情報](#)

[学術集会など](#)

[腎臓専門医](#)

[▼ 会員向け](#)

[会員向けニュース](#) ▶

[臨床研究](#) ▶

[診療ガイドライン](#) ▶

[褒賞選考委員会](#) ▶

腎臓病総合レジストリーへの参加・継続のお願い

[HOME](#) >> [臨床研究](#) >> [腎臓病総合レジストリー](#)

○ 腎臓病総合レジストリー

腎臓病総合レジストリーへの参加・継続のお願い

2007年より開始した腎生検登録（J-RBR）を含めた腎臓病総合レジストリーJapan Kidney Disease Registry（J-KDR）は、順調に参加施設・登録件数が増加し、2016年9月現在143施設・腎生検例を中心に約3万4千件となっています。日本腎臓学会会員施設であれば、各施設の倫理体制に合わせた申請をいただければ参加できるシステムになっております。J-KDR(J-RBR)へのご参加・ご継続を是非お願いしたいと思います。

また、本システムは一次研究、二次研究の2階建てになっておりますが、学会主導の臨床研究、疫学研究推進のためには是非二次研究までご協力下さい。

腎臓学会の腎臓病対策事業の核となるプロジェクトであり、今後も継続することにより 将来の腎臓病診